



志學館大学生涯学習センター通信

第16回学校臨床セミナー

～鹿児島女子短期大学・志學館大学との連携事業～



『一人ひとりの生活を育む社会福祉支援』

学校臨床セミナーは、多くの皆様に支えられ、本年度で16回目を迎えることができました。ありがとうございます。
本年度は、本学中村年男准教授、佐野美喜カウンセラー、有松しづよ准教授を講師として、「一人ひとりの生活を育む社会福祉支援」というテーマで、平成28年8月4日に行いました。社会福祉や健康の問題、子どもの生活について考えるセミナーとなりました。
(大島英世)

【講義1】講師：中村年男
(志學館大学人間関係学部准教授)

「一人ひとりを大切にする社会福祉とは ～社会福祉理論とソーシャルワーカーの紹介をとおして～」

中村先生からは、社会福祉制度の発展の歴史や、社会福祉とは何か、そのとらえ方、考え方について学びました。社会福祉制度と私たちの生活を照らし合わせてみると、それがどのように活用され役立っているのかいないのかということが見えてきます。そこに見えてくる問題こそが社会福祉のあり方について考える問題であり、私たち一人ひとりが考えを持って生活をしていくことが大切です。これらのことが自然に浮かび上がってくるような、とても具体的で示唆に富んだお話をいただきました。「社会福祉について学習するのは難しいことだがとてもわかりやすかった」、「考え方の成り立ちについて学べたことがよかった」などの感想をいただきました。



【講義3】講師：有松しづよ
(志學館大学人間関係学部准教授)

「子どもの貧困を考える」



有松先生からは、子どもの貧困というテーマで現代社会の子どもを取り巻く問題についてお話しいただきました。子ども達が生活をする環境は、家庭や児童養護施設など様々ですが、こうした子ども達の生活の実態や実情について貴重なご経験からご紹介くださいました。子ども達をとりまく現代社会の問題や大人の役割などについて、いろいろな意見が述べられ、子どもの貧困について身近な問題として真剣に考えることができました。「身近にありながら知らないことが多かった」、「社会福祉の観点から子ども達の生活について考えることや学ぶことは大切だと思う」、「目の前にいる子ども達が楽しく安心して生活できるように学んだことを活かしていきたい」などの感想をいただきました。

子ども達の生活の実態や実情について貴重なご経験からご紹介くださいました。子ども達をとりまく現代社会の問題や大人の役割などについて、いろいろな意見が述べられ、子どもの貧困について身近な問題として真剣に考えることができました。「身近にありながら知らないことが多かった」、「社会福祉の観点から子ども達の生活について考えることや学ぶことは大切だと思う」、「目の前にいる子ども達が楽しく安心して生活できるように学んだことを活かしていきたい」などの感想をいただきました。

【講義2】講師：佐野美喜
(志學館大学学生支援センター専任カウンセラー)

「ストレスケアについて ～タッピングタッチの紹介と体験～」

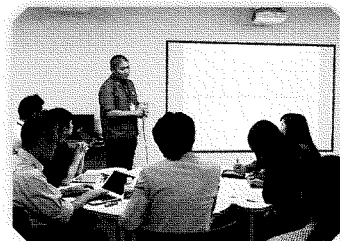
佐野先生からは、タッピングタッチについての説明と実技体験が行われました。タッピングタッチは、からだをトントンとタッピングして気持ちの落ち着きを促す方法で、ペアを組み、指腹で相手の肩や背中、腰などを緩やかな音楽に合わせてゆっくりとリズムカルにタッピングします。ごく簡単な方法ですが、肩や腰がだんだんほぐれ、からだがらくになって気持ちもホッとリラックスしていきます。参加した方が自然に打ち解け、もっとお互いをサポートしたいという気持ちになっていたのがとても印象的で、安心感と頑張る活力を十分に得た体験となりました。「新しい感覚のもので心地よく、日常生活でも職場でもやってみよう」などの感想をいただきました。



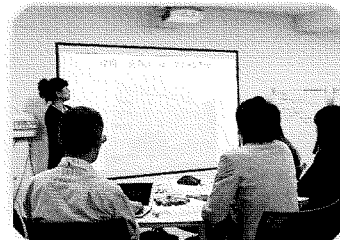
肩をタッピングしています

鹿児島大学かごしま COC センターとの共催事業 「公共施設を通して協働のあり方を考える」開催

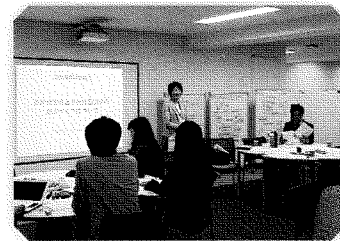
平成28年5月23日（月）午後18時より、志學館大学図書館ラーニングコモンズにて、鹿児島大学かごしま COC センター社会貢献・生涯学習部門との共催講座「大学で話すみんなの暮らし～公共施設を通して協働のあり方を考える～」を開催しました。かごしま生涯学習センター研究会（代表：岩橋恵子教授）の取り組みから鹿児島大学との連携が進む中で、そのメンバーが中心となり今年2月には「大学で話すみんなの暮らし～行政・住民・会社・NPO・学校、みんなで話せば面白い！～」(文部科学省「学びによる地域活性化プログラム普及・啓発事業」)が実施され、好評を博しました。今回はその続編という形で実現したものです。2月の事業で取り上げられた『「地域課題」の解決を支える図書館』と「若者の参加・仕事おこし」の事例をふまえてさらに掘り下げる内容で、鹿児島大学・酒井佑輔講師のご協力のもと、第1部は西山佳孝氏（東シナ海の小さな島ブランド株式会社）「公共施設の変遷と可能性～産官学民を通じた連携事例の紹介～」、岩下雅子氏（志學館大学特任講師）「多様化する公共施設としての図書館」、印南百合子氏（鹿児島県社会福祉課課長）「多世代交流と多機能型支援の拠点づくりについて」の講演と、本学人間関係学部3年の仲山健太さんのプレゼンテーションもあり、第2部では小笹雄一郎氏（コトカキ屋）をファシリテーターに迎えてのワークショップが展開されました。それぞれの持ち場で躍動し注目される方々の積極的な姿勢から大いに学び、小規模多機能型公共施設や人の出会い・繋がり・課題解決等について考え、約30名の学生・教職員・企業関係者・行政関係者等が熱い議論を交わしました。熱気冷めやらぬ中、打ち上げでも真剣な議論が続き、このような場づくりへの期待を痛感した1日となりました。新たな試みに快くご協力くださった方々、そして終始意欲的に参加してくださった皆様に、心より感謝申し上げます。（志賀玲子）



公共施設関連で全国を飛び回る西山氏



図書館で学生にも人気の岩下氏



地域福祉に注力する印南氏（中央）と、学習空間の潤滑油役・小笹氏（右奥）

よくわかる韓国語講座（初心者対象）～韓国語で話そう～

志學館大学生涯学習センターでは、鹿児島市との連携による公開講座を開講しています。今回は、初心者を対象にして「よくわかる韓国語講座」を「サンエールかごしま」で全10回、実施しました。

講師は、韓国語通訳案内士の国家資格を持つ志學館大学入佐信宏教授で、韓国滞在歴13年の経験に基づく内容の深い講座となりました。語学の習得だけでなく、韓国の文化や習慣、ニュースや新聞ではわからないことまで、とてもわかりやすく教えていただきました。

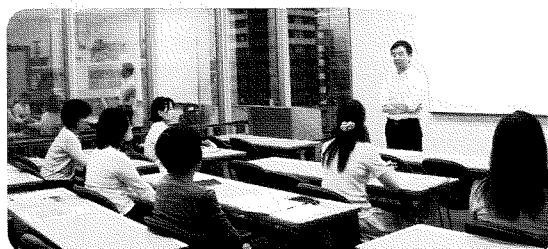
受講された方々の感想の一部を紹介します。

- ・初めて韓国語講座を受講しました。毎回、楽しい講座内容であっという間に終わってしまったという印象でした。
- ・初心者対象の講座がなかなか無く、この講座に参加して、声に出して勉強することで覚えやすく理解できました。
- ・文字が読めるようになったことに、びっくりしています。テキスト以外の話もたくさんあり、もっと韓国について知りたくなりました。
- ・韓国語にふれることで少し韓国に親しみをもちました。

他にも、「楽しかった」、「勉強がしやすかった」、「充実した10回の講座でした」、「ハングルの基礎が学べた」などの声をいただきました。受講された皆さん、たくさんの感想ありがとうございました。

韓国は、2時間で行くことのできる近い国です。本講座で学んだことを周りのお友達や地域の方々にも広めていただき、韓国文化に対する理解をさらに深め、実際に訪問してみたいかがでしょうか。

このような地道な学習を継続することが日本と韓国の架け橋になっていくことを期待するとともに、今後とも多くのの方々の受講をお待ちしております。（原之園政治）



平成28年度ニューライフカレッジ霧島・隼人学 「となりのあの人に学ぶ、地域・魅力・発信」をテーマに開催中

霧島市教育委員会、鹿児島工業高等専門学校との連携講座「ニューライフカレッジ霧島・隼人学」が、今年も多くの受講者を迎えて始まりました。17年目を迎える今年度のテーマは、「となりのあの人に学ぶ、地域・魅力・発信」です。とても身近な所で私たちの地域の魅力を発信して活躍されている方々から、その思いと方法を実践的に学ぼうとの趣旨です。今号では、4回分を報告します。会場は、国分公民館（5月、6月、8月）と志學館大学（7月）でした。

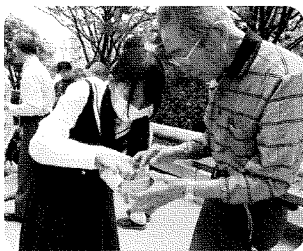
（岩橋恵子、岩下雅子）

第1回 キリシマツツジの普及をめざして

5/14(土)

国分中央高等学校 園芸工学科 高校生

古来、霧島山中に多くあったといわれるキリシマツツジは、今ではすっかり見かけなくなりました。それを広く普及していくための取組みを、国分高校生が始めています。講座前半では、高校生がスライドを使って、キリシマツツジの歴史や植生から、普及に向けた取組みまで詳しく述べ、地域が「キリシマツツジの里」になる日まで活動を続けたいと夢を語ってくれました。そして後半は、受講者全員が高校生からキリシマツツジの植栽の実習指導をうけ、植えた鉢をいただきました。「自分で鉢植えして気分最高。きれいな花を咲かすぞ」「地域に生きる若者が、未来を考え発信していることに感動」など、高校生に賛辞の声しきりでした。

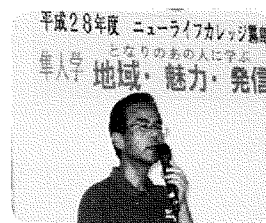


第2回 地域の魅力をミュージカルで

6/11(土)

NPO 法人きりしま創造舞台・理事長
地蔵原 勇氏

まず地域の活性化には、地域愛の醸成が必要で、そのためには地域を知って、地域を発信することが大切であることが話されました。そして、そうした思いから、住民で創りあげるミュージカルの自主上演活動に、10年以上にわたり継続的に取り組んでこられたことが熱く語られました。ミュージカルを貫くテーマは、「命の継承（過去のことを知って、次の世代に伝える）」と「誇れる郷土（人、自然、歴史、文化、芸術等々）」で、それがミュージカルの登場人物や歌に沢山盛り込まれていることが、映像を使いながら楽しく解説されました。地域や若者に元気と夢を与えているミュージカルの舞台に、誰もが参加したくなったようでした。

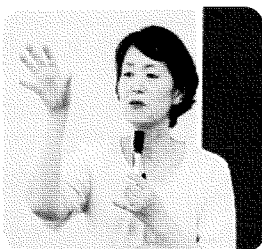


第3回 こうして伝えた 「霧島の食文化・食のドラマ」

7/9(土)

鹿児島女子短期大学 講師
千葉 しのぶ氏

霧島で食を大切にする文化を育てるためスタッフと共に地域に根差した食育活動を展開中の様々な活動は、まさに「隣のあの人に学ぶ地域・魅力・発信」にふさわしい内容でした。数多くのスライドを通して食育の大切さを学びました。時には幼い頃の記憶が呼び戻されるような食の話は、昭和の家族の記憶へと繋がり涙ぐむ受講生の姿も多く見受けられました。この日、食を通して私たちは何と多くのことを学び、考えさせられたことでしょう。参加者全員、熱い思いが胸に去来する隼人学の日でした。ところで、この日は生憎の大雨。出会者数を懸念する中、多くの受講生が志學館大学まで足を運んでくださいました。学生曰く「雨にも負けず、風にも負けず。僕たち学生も皆さんに負けられませんね」。

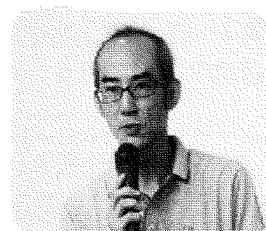


第4回 共生協働で地域を発信 ～ Lab 蒲生郷10年の歩み～

8/6(土)

NPO 法人 Lab 蒲生郷・副理事長
丸野 博和 氏

若い力、新しい風、そして地元の人々との共生協働（対立の無い協力関係）を大切にすることで、こんなにも地域が活性化していくのかということ学びました。マイナス要因と思われがちな少子化、高齢化、過疎の郷（町）を、発想力・企画力・実践力そしてマンパワー（皆の思い）を駆使することで、多くの人々を蒲生郷に惹きつける。着地型観光地として、学びの地（学びのカモコレ）として、町おこし（プラス要因）へと転換させていく蒲生郷の人々の力を感じました。何事も人づくり、コミュニケーション力がコアとなり、企画も次代に繋がる楽しさ・活力・明るさを付与すると話された言葉に感銘を受けました。多くの示唆に富む蒲生郷の活動に大いに刺激を受けた一日でした。



平成28年度 志學館大学 生涯学習センター 後期開講講座

志學館大学生涯学習センターでは、平成28年度・後期開講講座として下記のようなプログラムを企画しております。より豊かな秋の学びとして是非チャレンジください。

● 2016年度 ニューライフカレッジ霧島【志學館大学・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会 連携講座】

テーマ：**準人学** とんりのあの人に学ぶ **地域・魅力・発信**



【後期（10月～2月） 時間：9:30～11:30 会場：鹿児島工業高等専門学校】

日時	講座内容
10/8 (土)	「夢をかなえるスポーツのチカラ！」木原正人氏 (NPO 法人準人錦江スポーツクラブ グラブマネージャー)
11/12 (土)	「金山史跡で地域活性化！」宇都隆志氏 (山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会 委員長)
12/10 (土)	「吉野兵六でつなぐ地域づくり」永山恵子氏 (NPO 法人地域サポートよしのねぎぼうず 理事長)
1/14 (土)	「ゴットン演奏でまちを元気に発信」永山成子氏 (元財部北小学校職員・ゴットン演奏家)
2/11 (土) (9:30～12:00)	「とんりのあの人に学ぶ『地域・魅力・発信』」 コーディネーター：岩橋恵子氏 (志學館大学 教授) ・閉講式

『よくわかる中国語講座 (初心者対象)』 ～中国語で話そう～

日時 平成28年
9月27日(火)～12月6日(火)

会場 サンエールかごしま
(4階中研修室)



- 講師：谷口明夫 (志學館大学名誉教授)
- 受講料：12,000円 (全10回分)
- 定員：20名 (申込者多数の場合は抽選となります)
- 対象：どなたでも受講できます
- 受講申込：8/16 (火)～9/23 (金)

毎週火曜日 全10回
19:00～20:30



志學館大学資格センターからのお知らせ かごしま検定試験対策講座



学生向けの資格センターの講座がこの度初めて、市民の皆様もご受講いただけることになりました。受講料は無料となりますのでおすすめです。ぜひ学生と共に鹿児島の観光や文化について学んでみませんか。

講座担当：志學館大学非常勤講師
NPO 法人かごしま探検の会 東川隆太郎 氏
受講料：無料 かごしま検定受験料：3,240円
教材費：2,160円 ※鹿児島商工会議所編『かごしま検定公式テキストブック』
増補改訂版を事前に購入してください。

◎2月試験対策コース

回	日程	時間	講義内容
1	12/21 水	13:00～17:50	第1章 自然 第2章 歴史 第3章 文化
2	12/22 木	13:00～17:50	第4章 地域の特徴 第5章 産業・経済

申込締切 12/7

受講希望の方へ

受講希望の方は下記へご連絡ください。資料を送ります。

TEL:099-812-8501 (代)
Email:shikaku@shigakukan.ac.jp

2018年
NHK大河ドラマ
『西郷どん』決定！
かごしまをもっと
知ってみよう！

お問い合わせ
お申し込み先



志學館大学生涯学習センター

住所 〒890-8504 鹿児島市紫原1丁目59-1

Tel.099-812-8501 Fax.099-257-0308
URL http://www.life.shigakukan.ac.jp
Email life@shigakukan.ac.jp

編集：野浪俊子・森実紀